

つるみちゆうとしょかん
鶴見中図書館からのおすすめの本
(1年生向け)

- 「本^{ほん}についての授業^{じゆぎやう}をはじめます」 永江^{ながえ} 朗^{あきら} (少年写真新聞社^{しょうねんしゃしんしんぶんしゃ})
・図書館^{としょかん}や本^{ほん}のことがよく分かります
- 「ぐっとくる文学^{ぶんがく}のセリフ101」 あさのあつこ (すずき出版^{しゅつぱん})
・おすすめ^{おすすめ}の文学作品^{ぶんがくさくひん}の中の心^{なか}にぐっとくるセリフ^{しやうがい}を紹介
- 「友だち関係^{ともだちかんけい}・・・自分^{じぶん}と仲良^{なかよ}く」 やまのともこ (旺文社^{おうぶんしゃ})
・新^{あたら}しい友達^{ともだち}を作る時^{とき}に役^{やく}に立ちます
- 「虹^{にじ}の図鑑^{ずかん}」 武田^{たけだ} 康男^{やすお} (緑書房^{みどりしょぼう})
・ ・ ・ 美^{うつく}しい虹^{にじ}の写真^{しやしん}が心^{こころ}をすっきりさせてくれます
- 「翻訳^{ほんやく}できない世界^{せかい}のことば」 エラ・フランシス・サンダース (創元社^{そうげんしゃ})
・ ・ ・ 世界^{せかい}の素敵^{すてき}な言葉^{ことば}にふれてみたい人^{ひと}におすすめ
です
- 「素数^{そすう}ゼミの謎^{なぞ}」 吉村^{よしむら} 仁^{じん} (文藝春秋^{ぶんげいしゆんじゆう})
・ ・ ・ 昆虫^{こんちゆう}の世界^{せかい}の不思議^{ふしぎ}を知りたい人^{ひと}へ
- 「モギ ちいさな焼きもの師^し」 リンダ・スー・パーク (あすなろ書房^{しよぼう})
・ ・ ・ 職人^{しよくにん}の世界^{せかい}の厳し^{まじ}さと魅力^{みりよく}が味わえます
- 「夏^{なつ}の庭^{にわ}」 湯本^{ゆもと} 香樹^{かず} 実^み (徳間書店^{とくましやてん})
・ ・ ・ 3人の少年^{しょうねん}とおじいちゃんとの交流^{こうりゆう}が心^{こころ}に
残^{のこ}ります
- 「西^{にし}の魔女^{まじよ}が死^しんだ」 梨木^{なしき} 香歩^{かほ} (新潮文庫^{しんちやうぶんこ})
・ ・ ・ 元氣^{げんき}が取り戻^{とど}せるおばあちゃん^{おばあちゃん}の魔法^{まほう}とは
- 「グッドラック」 アレックス・ロビラ (ポプラ社^{しや})
・ ・ ・ 人生^{じんせい}の不思議^{ふしぎ}なめぐり合わせとは

ねんせいむ
(2年生向け)

- 「人生はワンチャンス」
水野敬也・長沼直樹 (文響社)
・・・迷った時に力をもらえる言葉がたくさんあります
- 「ラグビーが教えてくれること」
村上晃一 (あかね書房)
・・・去年のラグビーの感動が思い出せます
- 「国境なき医師団とは」
梅津ちお (天月書店)
・・・医療に携わる人々の熱い願いとは
- 「多数決とジャンケン」
加藤良平 (講談社)
・・・ものごとの決め方のおもしろさが分かります
- 「里山いきもの図鑑」
今森光彦 (童心社)
・・・里山の美しい自然は心をいやしてくれます
- 「夜の山道で」
星 新一 (理論社)
・・・シヨートシヨートの楽しさを味わいたい人へ
- 「ドッグ・シェルター」
今西乃子 (金の星社)
・・・動物が人に与えてくれることとは
- 「ホスピタルクラウン」
大棟耕介 (サンクチュアリ出版)
・・・笑顔の持つ力は大きいと信じられる本
- 「カラフル」
森 絵都 (理論社)
・・・死んだはずの少年が生き返って見た人たちとは
- 「沈黙の春」
レイチェル・カーソン (新潮文庫)
・・・世界の環境問題について考えてみませんか

3ねんせいむ (3年生向け)

- 「生きていくあなたへ」
白野原重明 (幻冬舎)

・・・生きることについて考えたい人へ

○「世界まるごと質問箱」 ヒロセタカヨ (徳間書店)

・・・外国についての知識が広がります

○「たとえば、銀河がどら焼きだったら？」 布施哲治 (日本評論社)

・・・宇宙について楽しく分かりやすく説明してあります

○「種子たちの知恵」 多田多恵子 (NHK出版)

・・・植物の生きるための知恵を知りたい人へ

○「敬語サクッとノート」 山岸弘子 (永岡書店)

・・・日常生活や面接にも役立ちます

○「レモンをお金にかえる法」 ルイズ・アームストロング (河出書房新書)

・・・経済のしくみが分かる絵本です

○「砂漠の国からフオフォー」 中川なをみ (くもん出版)

・・・海外協力隊として未知の世界へ飛び込んだ女性
は・・・

○「あと少し、もう少し」 瀬尾まいこ (新潮文庫)

・・・運動部でがんばるみなさんにおすすめ

○「魔法のことば」 星野道夫 (文春文庫)

・・・星野さんの言葉は愛した自然と同様に美しいもので
す

○「ビート・キッズ」 風野 潮 (講談社)

・・・音楽のビートを愛する人へおすすめ